

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和元年 7月17日更新

事務事業名		公共サイン管理事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康	所属部	総務部	課長名	大茂 竜二
	施策	18	住環境の充実	所属課	企画課	担当者名	野邑 和伸
	施策の柱	58	公園など身近な住環境の整備とみどりの保全	所属班	企画広報班	(内線)	1255
予算科目	会計一般	2	1	11	事業連番	10161	根拠法令
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	公共サインの維持管理、台帳管理、私有地を借りて公共サインを設置している箇所についての借地料支払い等 平成10年前後の公共サイン整備から開始された。合併を機に施設名に変更が生じ、新市の名称への変更が望まれたため、引継ぎを受けたものについては平成18年度に書き換えを行なっている。
【業務の流れ】	台帳作成、道路占用更新許可申請、借地料の支払い、事故等による破損時の対応
【主な予算費目】	需用費(施設修繕費)、使用料及び賃借料
【意見や要望】	車両の接触等による破損や、劣化による表示部分の剥がれがある際などには、修理要望がある。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	公共サイン修繕(国道387号案内標識変更工事及び県道30号案内標識修繕工事)、借地料の支払い、現況調査を行った。	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		公共サイン修繕、合志庁舎・西合志庁舎表示内容の変更及び更新(40件予定)、借地料の支払い、道路占用更新許可申請手続き、現況調査等
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)管理を行っている公共サイン数	基
		予算の主な増減の理由【拡充事業】合志庁舎・西合志庁舎表記の表示内容変更及び更新を実施することによる増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	公共サイン	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位)管理を行っている公共サイン数
		基
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市の公共サインを適切に管理する	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位)更新や修繕等を行なった公共サイン数
		基
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画
公共サインの機能が十分発揮されるよう適切な維持管理ができているかを把握する		～年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込	
①活動指標	ア	基	79	79	79	84	84	84	84	84	
	イ										
②対象指標	ア	基	79	79	79	84	84	84	84	84	
	イ										
③成果指標	ア	基	2	2	2	2	40	2	2	2	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円					4,400			
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	179	60	780	632	360	180	180	180
		(A)事業費計	千円	179	60	780	632	4,760	180	180	180
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	0	2	1	2	2	2	2
延べ業務時間	時間	120	0	40	200	32	32	32	32		
(B)人件費計	千円	0	0	159	788	127	127	127	127		
トータルコスト(A)+(B)	千円	179	60	939	1,420	4,887	307	307	307		

事務事業名	公共サイン管理事業	所属部	総務部	所属課	企画課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 車両の接触等による破損や、劣化による表示部分の剥がれがあった際などには、都度対応できる体制をとっており、また公共サインの表示内容変更及び更新についても計画通りに実施する予定であるため目標達成の見込みはあると考える。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 市の主な施設への案内表示（公共サイン）は設置済みであり、管理するサインの総数は基本的には変わらない。基本的には現存するサインの破損や劣化時の補修対応となる事業であり、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要と見込まれる数の公共サインの維持管理に係る費用のみを計上しており、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 借地料の支払いや道路占用更新許可申請等、公共サインが存在する限り必要になってくる事務処理を最低限の人数で行っているため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公共サインについては、人の目につきやすい箇所へ設置しており、誰もが受益者となり得るため、公平性は保たれている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が管理する公共サインであり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

表記変更によるサイン修繕が2件あった。

今後も適切な維持管理に努めていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						